

滋賀県産業振興新指針の全体像

背景

1	IT化・グローバル化の急速展開	5	「環境」と「人」の世紀の幕開け
2	深刻化しつつある厳しい経済・雇用環境	6	本格的な地方分権の到来と地域間競争の激化
3	「選択と集中」へのベクトル修正	7	多様で主体性を持った社会活動の展開
4	科学技術力の比重増大と高付加価値化	8	少子高齢・健康長寿社会の進行

基本的視点

「危機意識」の明確化と「夢・希望・魅力」 従来の枠組みにとられない「構造転換」  
産学官の垣根を越えた人中心の「交流連携」

産学官連携体制の構築と  
創造型・自律型産業構造への転換

科学技術と人材

21世紀繁栄型スタイル

産業振興と「人」「環境」

アジア欧米等パートナーシップ

基本方向

(1) 素材を活かした滋賀らしさの追求 - - - 産業環境と産学官連携体制 - - -	(2) 時代に先んじる新産業の創造 - 滋賀3K産業およびバイオ産業、IT産業 -
(3) 「智の利」を基にした科学技術と人づくり - - - 創造型モノづくり - - -	(4) 時代の変化に対応した地域産業の創生 - 地場産業と商業機能、サービス・流通機能 -
(5) 県民の力を原動力とした経済の再生 - - - NPO・コミュニティビジネス - - -	(6) グローバル化への対応 - - - ワールドワイドな視点 - - -

プロジェクト構想

仕組み

地域特性を活かした県版経済振興特区推進プロジェクト  
グローアップ〔企業事業化〕促進機能最大化プロジェクト  
県民活力導入 - パートナーシップ推進プロジェクト  
産学官連携基盤構築プロジェクト

分野

環境産業クラスター形成プロジェクト  
健康福祉産業ネットワーク形成プロジェクト  
びわこバイオステージ推進プロジェクト  
湖国観光交流ビジョン推進プロジェクト

人材への視座

自然と文化への視座

発信への視座

産学官等の役割

指針の推進手法

指針の効果把握

未来像

- <1> 産学官ネットワークにより持続発展を促す自律型産業活動
- <2> 高付加価値の新しい技術や新しいサービス等が絶えず創造される産業活動
- <3> 自然環境と人の生活を豊かにする、経済発展と雇用創出を実現する産業社会